

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は、国語科・算数科ともに全国平均・大阪府平均を上回った。また、どちらの教科も大阪市平均を6pt上回る結果となった。本校の平均正答率が全項目平均値を上回っており、本校児童の基礎基本、学力の定着が窺える。国語科「A話すこと・聞くこと」について本校の平均正答率は65.5、算数科「C変化と関係」の本校の平均正答率は61.9と他の内容・領域と比較すると低い、対全国比で見ると最も高い領域となっている。

（国語科「A話すこと・聞くこと」全国59.8大阪市55.3/算数科「C変化と関係」全国51.7大阪市50.8）また、無解答率については、大阪府平均より0.1pt高い状態となっている。設問により大きな差が見られ、国語科では長い文章を読みまとめる問いに、算数科では、考え方を述べたり、グラフから読み取れることを述べたりする問いに戸惑いが見られたことが窺える。児童質問紙からは、仲間とのちがいを大切に、協力し合える関係が気づけていることが窺える。また、この地域ならではの家庭力の現れとして、朝ごはんや寝る時間、スマホの扱い等について家庭での約束事やルーティンが児童によく定着していることが窺える。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

国語科では、すべての項目において、全国平均・大阪府平均を上回っている。特に「情報の扱い方に関する事項」においては設問数は少ないが正答率は90.5と非常に高い数値になっている。また、前述したように「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」の2項目においては、大阪府平均を4～10pt上回っているものの、正答率は70を下回っており、今後力をまだまだ伸ばせる可能性を残している。文章の要約をしたり、自分の考えを構成に基づいて書いたりする経験を増やし改善を図っていききたい。

〔算数〕

算数科でも、すべての項目において、全国平均・大阪府平均を上回っている。年間を通し、すべての単元で計画的に習熟度別・少人数学習を実践してきた成果といえる。習熟に応じたクラスで、具体物や半具体物の操作等の活動を取り入れ、意見交流の場を積極的に設けてきた。今回、中でも正答率が低かったもの、また無解答率が高かったものは、考え方や方法、グラフから読み取れることを述べる設問である。算数科においても、主体的で対話的な学びを推進し、ペア学習やグループワーク等を積極的に取り入れながら、自分の言葉で気づきや考え方を述べる経験を増やしていきたい。

質問調査より

「早寝・早起き・朝ごはん」日常生活において規則的な生活習慣を身につける指導を、学校・家庭・地域で連携し、継続して行っている。質問紙の結果から、「朝食は毎日食べていますか」の項目について最も肯定的な回答が全国平均・大阪府平均を上回っている。就寝時刻の設問において最も肯定的な回答の割合は、全国平均・大阪府平均を10pt以上と大きく上回っており、昨今話題となりがちなスマホ等の約束ごとについての最も肯定的な割合も全国比で10ptを上回っている。これら生活リズムが規則的であることが子どもたちの学びを支えていると考えられる。また、「人が困っているときは、進んで助けられていますか」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」について最も肯定的に回答した児童は全国平均・大阪府平均を14pt～18ptと大きく上回る結果となった。

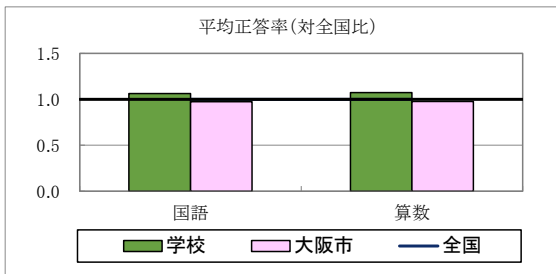
今後の取組(アクションプラン)

大阪市の取組施策のひとつである「主体的・対話的で深い学びの推進」を基本にして、各学年で授業改善に継続して取り組んでいる。国語科、算数科において、習熟度別・少人数学習を年間を通して計画的に進めている成果が出てきている。また、すべての教科において誰もが主体的・対話的であるために、一人ひとりのちがいを大切に、互いの意見を認め合える学級づくり、学校行事等の教育環境を整える。また、教育DXの推進に向け、一人一台端末の活用による学びの充実を図り、基礎基本の定着と底上げだけでなく、調べ学習やグループでの作業、プレゼンテーション等、学びの可能性を広げていきたい。

【 全体の概要 】

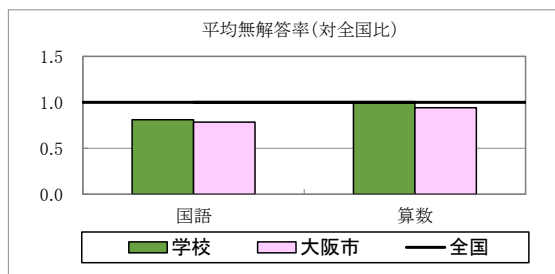
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	72	68
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.4	3.4
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



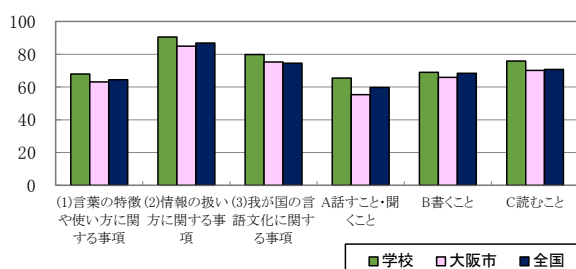
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	67.9	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	90.5	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	79.8	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	65.5	55.3	59.8
B 書くこと	2	69.0	65.9	68.4
C 読むこと	3	75.8	70.1	70.7

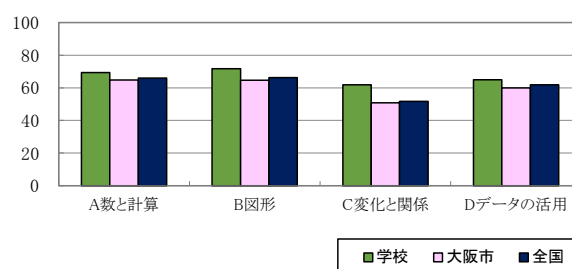
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	69.4	64.8	66.0
B 図形	4	71.7	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	61.9	50.8	51.7
D データの活用	4	64.9	60.0	61.8

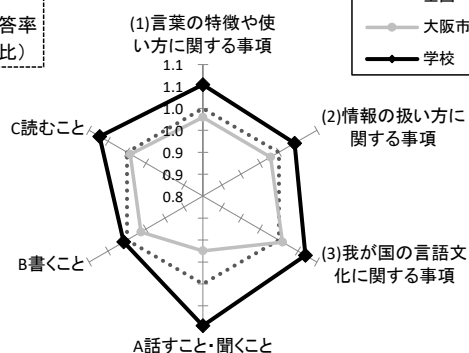
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



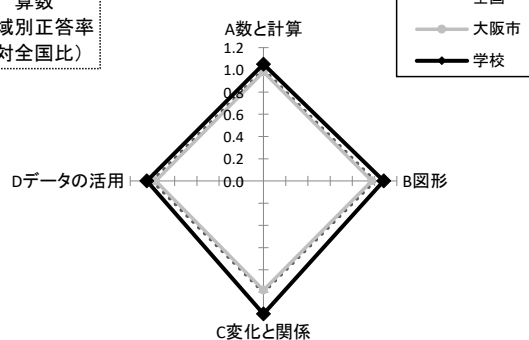
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)



児童質問より

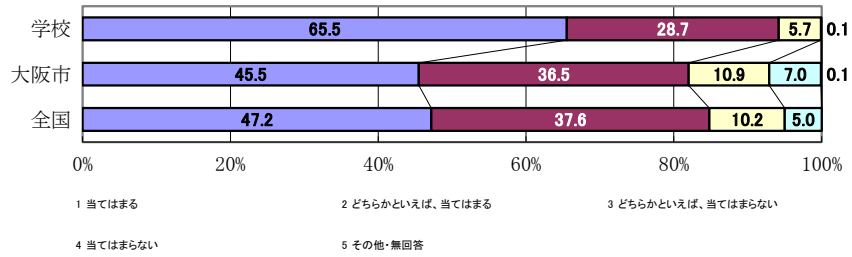
質問番号

質問事項

16

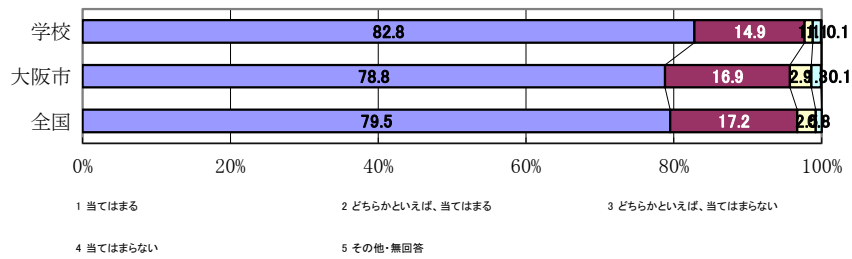
学校に行くのは楽しいと思えますか

1 2 3 4 5 6 7 8



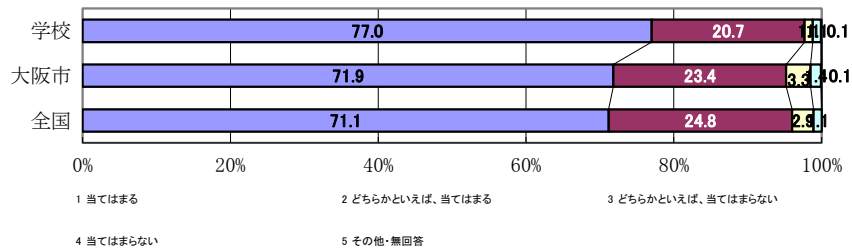
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



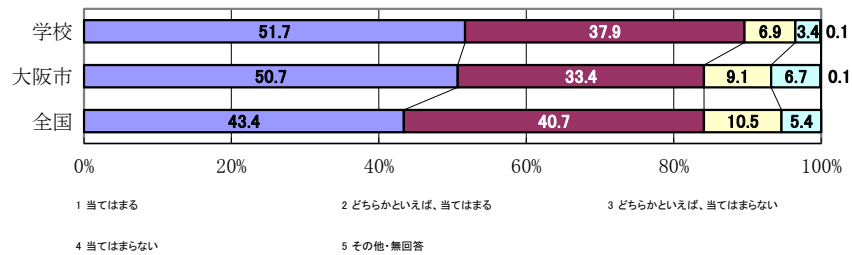
15

人の役に立つ人間になりたいと思えますか



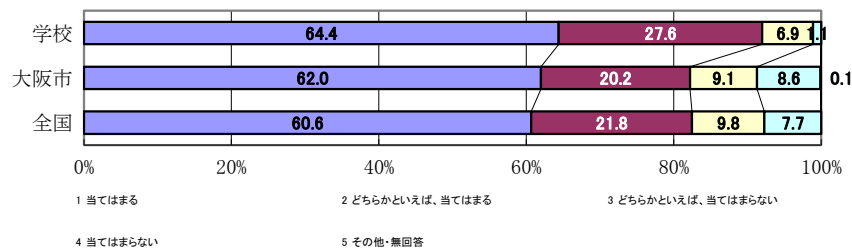
9

自分には、よいところがあると思えますか



11

将来の夢や目標を持っていますか



児童質問より(26)

質問番号

質問事項

61

放課後や週末に何をして
過ごすことが多いですか
(複数選択)

